

復旧復興だより

◆相馬市内の海岸堤防の復旧状況をお伝えします。

相双建設事務所では、相馬市や相馬港湾建設事務所などと連携しながら海岸堤防の復旧工事を進めており、これまでに堤防海側の消波ブロックなどを設置しました。

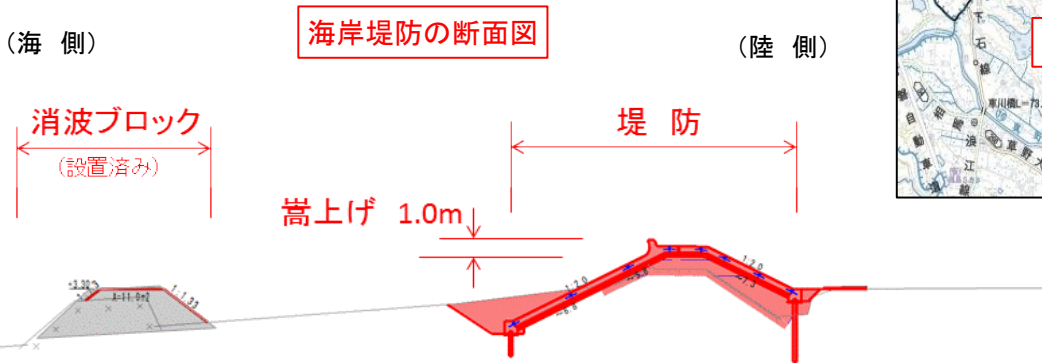
現在は震災前から高さを1メートルかさ上げし、津波に対して粘り強い構造とした堤防を整備しており、今後、海岸沿いの観光道路でもある市道大洲松川線の代行工事も進めます。

一般車両への安全確保などにも配慮しながら、施工者とともに工事の工程管理を適切に実施し、一日も早く、災害に強い安全で安心できる生活環境を確保してまいります。

※参考：工事では、相馬福島道路のトンネル工事で発生した土砂や石も活用しています。また、堤防延長が長い大洲工区（大浜地区海岸）は6つの工区に分けて工事を進めます。

（今回の内容は、昨年10月に紹介した「海岸堤防工事の本格開始」に続き、工事の状況をお伝えするものです。）

- ・大浜地区海岸（大洲工区） L=5,073m [施工者：小野建設ほか]
- ・大浜地区海岸（上ノ台工区） L= 140m [施工者：関場建設]
- ・古磯部地区海岸 L= 496m [施工者：小野・渡部JV]
- ・蒲庭地区海岸 L= 220m [施工者：石川建設工業]
- ・市道大洲松川線 L=5,738m、W=6.0(10.0)m [発注準備中]



※「津波に対して粘り強い構造」とは、コンクリートが厚い、堤防の基礎部分が深い、堤防の勾配が緩いなどの形。



平成26年3月の松川浦の状況



震災直後の状況

古磯部地区海岸



(新たな堤防をつくるため地盤を掘っている状況)



蒲庭地区海岸



(波を抑えるための石を設置している状況)



市道大洲松川線



(道路の盛土に使う土砂を搬入している状況)

大浜地区海岸(上ノ台工区)



(海岸堤防の一部が完了している)



大浜地区海岸(大洲工区)



(新たな堤防をつくるため地盤を掘っている状況)

工事監督員の声 (大浜地区海岸)

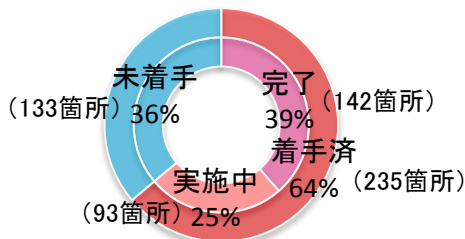
(廣部主査：滋賀県からの応援職員)
安全で安心なまちづくりの一助となるよう、少しでも早く海岸堤防の復旧を図るべく、施工者と協力して取り組んでまいります。

現場担当者の声 (大浜地区海岸)

(小野建設：小泉さん)
今までにない大規模工事で労務者や資材確保等の不安要素はありますが、職員全員で1日も早い復旧・復興へ向け頑張っていきたいと思います。

◆ その他の情報

◇ 震災等の災害復旧工事の進捗 (H26.5月末)



※対象は相双建設事務所が管理する道路、河川、海岸等であり、放射線量が高く査定が未実施の避難指示区域の一部は含まず。率は事業箇所数で算出した割合。

◇ 県道原町川俣線 八木沢トンネルの掘削状況

H26.6.25現在、全長2,345mのうち南相馬市側から119m地点を掘削中。

○次回は、津波被害の軽減効果を発揮する「防災緑地」事業をお伝えする予定です。
(事業の進捗状況等により変更する場合があります)